

レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和5年11月29日	使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	松永 一美
レジメン名	エブキンリ皮下注(1サイクル目)【計1回】		
疾患名	大細胞型B細胞リンパ腫 濾胞性リンパ腫	適応の備考	以下の再発又は難治性の大細胞型B細胞リンパ腫 (びまん性大細胞型B細胞リンパ腫、高悪性度B細胞リンパ腫、原発性縦隔大細胞型B細胞リンパ)
適応分類	再発又は難治性		再発又は難治性の濾胞性リンパ腫
1コース日数	28	日間	総コース数
抗がん剤投与量・投与日	エブキンリ皮下注 0.16mg/body day1、0.8mg/body day8、48mg/body day15.22		
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)	(day)		

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	なし	生食50mL	1	本 / body		●																										
	皮下注射	エブキンリ皮下注	0.16	mg / body		●																										
2	なし	生食50mL	1	本 / body								●																				
	皮下注射	エブキンリ皮下注	0.8	mg / body								●																				
3	なし			/																												
	皮下注射	エブキンリ皮下注	48	mg / body															●							●						
	経口投与	プレドニン錠5mg	20	錠 / body		●						●							●							●						
	経口投与	レスタミンコーワ錠	5	錠 / body		●						●							●							●						
	経口投与	カロナール錠300mg	3	錠 / body		●						●							●							●						
	エブキンリ皮下注投与の30分～2時間前																															
	経口投与	プレドニン錠5mg	20	錠 / body			●	●	●				●	●	●				●	●	●					●	●	●				
	医師の指示通り																															

【投与上の注意】

- エブキンリ皮下注: 前投薬として、1サイクル目(Day1,8,15,22)にプレドニン(5)20錠、レスタミンコーワ5錠、カロナール(300)3錠を内服する。  
また、エブキンリ皮下注投与1サイクル目(Day1,8,15,22)の翌日と投与2日目および3日目にプレドニン(5)20錠を内服する。
- エブキンリ皮下注: 2サイクル目以降でGrade2または3のサイトカイン放出症候群があらわれた場合は、Grade2以上のサイトカイン放出症候群があらわれなくなるまで副腎皮質ホルモン剤をエブキンリ皮下注投与の30分～2時間前とエブキンリ皮下注投与翌日と投与2日目および3日目に内服する。
- エブキンリ皮下注: 腹部又は左右の大腿部に皮下投与。  
繰り返し皮下投与する場合、特に週1回投与(1～3サイクル目)では、腹部、左右の大腿部等に交互に投与するなど同一注射部位を避けること。
- エブキンリ皮下注: 以下のいずれかに該当する投与遅延があった場合は、サイトカイン放出症候群を軽減するために、1サイクル目の投与方法に戻して再び投与を開始すること。
  - ・0.16mgと0.8mgの投与間隔が8日を超えた場合
  - ・0.8mgと48mgの投与間隔が14日を超えた場合
  - ・48mgの投与間隔が6週間を超えた場合
 その後は、予定されていた次の投与サイクル(投与を延期したサイクルの次の投与サイクル)の1日目から投与を再開すること。
- エブキンリ皮下注: サイトカイン放出症候群は投与初期に多く認められることから、第1サイクルの各投与後には入院管理を検討すること。  
ただし、少なくとも第1サイクルの初回の48mg投与後48時間は必ず入院管理とすること
- エブキンリ皮下注【0.16mg投与】: ①4mgバイアルより0.8mLを抜き取り、空のバイアルに加えて生食4.2mLで希釈し、エブキンリ濃度0.8mg/mLの溶液とする。  
②エブキンリ濃度0.8mg/mLの溶液より2.0mLを抜き取り、空のバイアルに加えて生食8.0mLで希釈しエブキンリ濃度0.16mg/mLの溶液とする。  
③エブキンリ濃度0.16mg/mL溶液より1.0mLを採取する。
- エブキンリ皮下注【0.8mg投与】: ①4mgバイアルより0.8mLを抜き取り、空のバイアルに加えて生食4.2mLで希釈し、エブキンリ濃度0.8mg/mLの溶液とする。  
②エブキンリ濃度0.8mg/mL溶液より1.0mLを採取する。
- エブキンリ皮下注【48mg投与】: 48mgバイアル0.8mLを採取する。(希釈不要)